

2023 年度 環境経営レポート



三星樹脂工業株式会社

報告期間:2022年10月1日～2023年9月30日

作成日:2024年 8 月 5 日

環境経営方針

「基本理念」

三星樹脂工業㈱は環境問題への取り組みを社会的責務と認識し豊かな社会と環境の実現に貢献します。

環境経営の継続的改善を実施する。

「行動指針」

- ・事業活動の全域で、省資源、省エネルギーの推進に努めます。
- ・環境保全に適合した製品の購入及び販売の促進に努めます。
- ・環境に関するリスクを認識し、社会全体の環境リスクの低減を図ります。
- ・環境関連法規の遵守。
- ・全従業員に不定期での品質全体会議実施
- ・エコアクション 21 新組織の基で役割・責任を果たす様に努めること。

毎日実施する主な行動

- 1) 地球温暖化防止（CO₂削減）のために
 - ①不必要な電灯はこまめに消す
 - ②エアコンの設定温度
(夏 26℃～28℃、冬 18℃～20℃) を目標
 - ③ガソリンの消費量削減に努める
- 2) 環境型社会の構築（廃棄物を減らし資源を節約すること）のために
 - ①資源ごみの分別を徹底する
 - ②廃プラのリサイクルが難しくなっている為、廃プラを出来る限り減少させる為に端材の管理を行い製品へ極力利用できるような務める
- 3) 工場増設完了
作業効率 UP 及生産性 UP の為新たに第二工場を設置しました。
(2021 年 7 月稼働開始)
所在地は 2 頁を参照下さい。
マシニングセンター3 台、縦型フライス 2 台、横型フライス 1 台にて稼働しています。

2005 年 8 月 1 日制定
2024 年 8 月 5 日改定
三星樹脂工業株式会社
代表取締役 石村 弘之

事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者名
三星樹脂工業株式会社
代表取締役 石村 弘之

(2) 所在地（本社・工場）

〒124-0013

東京都葛飾区東立石 2-12-19

TEL：03-5670-1311

FAX：03-5370-1310

Eメール：sansei@topaz.plala.or.jp

(2) - 1 所在地（第二工場）

〒124-0014

東京都葛飾区東四ツ木 1-22-1 TEL：03-5875-7840 FAX：03-5875-7841

(葛飾区東四ツ木工場ビル 405)



(3) 環境経営管理責任者氏名及び連絡先

責任者 代表取締役 石村 弘之 TEL：03-5670-1311

(4) 事業内容（認証・登録の範囲）

産業機械，医療器械，通信機器用の合成樹脂部品の加工販売

(5) 認証・登録範囲

「当社は全組織・全活動を対象に活動しています」

(6) 事業の規模

売上高 246, 222 千円 (基準年度対 5.7%up)

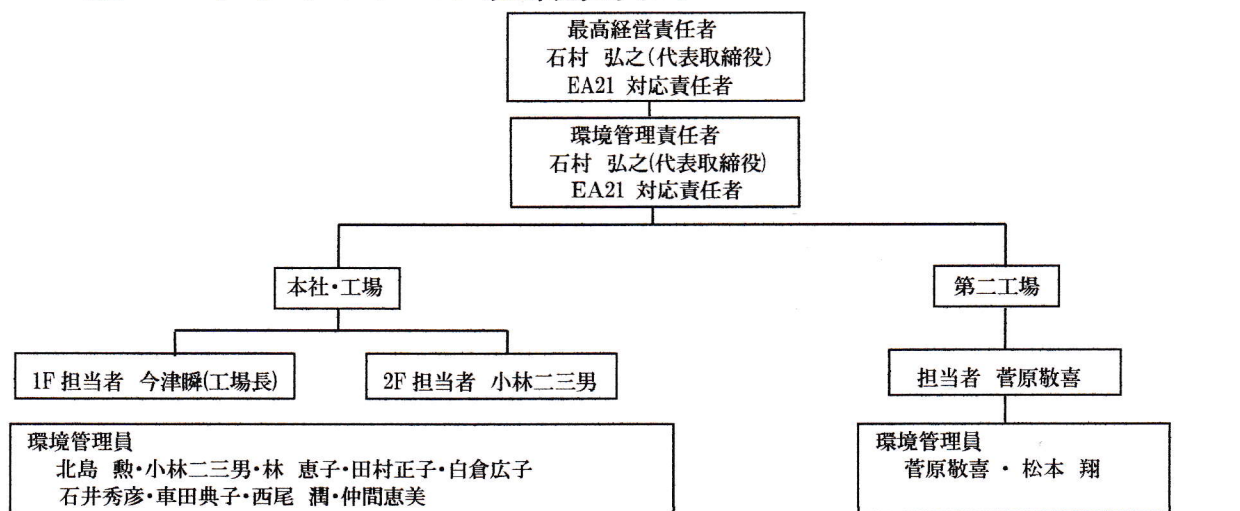
(自 2022 年 10 月 1 日～至 2023 9 月 30 日)

従業員数 17 名

事業所の延べ床面積 256.35㎡ 本社・工場(14 名)

〃 62.0 ㎡ 第二工場(3 名)

■エコアクション 21 組織図(1)



※2020 年 2 月より代表取締役は石村弘之に交代しました。

	北 島	小 林	林	田 村	西 尾	白 倉	石 井	車 田	仲 間	今 津	菅 原	松 本
電力・電灯・エアコン		○	○	○	○				○		○	○
コピー用紙(裏利用)			○	○		○		○	○			○
梱包及び 梱包材(段ボール)	○						○			○		
再生紙(グリーン調達)			○			○		○	○			○
資源ごみ(新聞紙等)					○							
水				○		○		○	○			
燃えるごみ		○			○		○			○	○	○
廃プラスチック	○				○					○	○	○
RoHS 材料		○			○		○			○	○	○
RoHS 部品仕入		○			○					○		

*RoHS 指令の禁止物質について(別紙)各作業者は対策済の材料確認の上使用すること。(H28.2.10)

エコアクション 21 組織図 (2) 役割・責任・権限

代表者	・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を用意 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者 EA21 事務局兼務	・環境経営システムを構築・運用する (代表者から EA21 の権限を委任) ・実施体制の構築(組織図及び役割・責任・権限) ・教育・訓練の実施を指示 ・環境上の緊急事態への準備・対応 ・環境活動のレポート作成 ・環境活動の取組み結果を代表者へ報告 ・環境関連法規等の取りまとめ表作成と遵守評価実施 ・環境関連文書・記録の管理 ・EA21 の推進(環境管理責任者の指示を受けて)
環境管理副責任者 1F 担当者 2F 担当者 第二工場 担当者	・環境への負荷及び取組チェック実施 ・環境管理員の各人への取組指示及び実施状況の把握をする
全従業員	・環境方針を理解し、環境への取組みの重要性を自覚 ・EA21 で決められた各自の役割を実施 ・各自役割分担表に基づく項目を十分に把握すること

環境経営目標とその実績

今年度の事業活動における環境負荷を「環境経営活動の取組チェックリスト」で把握し昨年と同様の7項目を環境目標として取組ました。

詳細及び実施記録は下記の通りです。

昨今の酷暑により夏季にかけて例年同様に電気の使用量が著しく上がっておりエアコン以外でも室内温度を下げられるような方法も考えなければいけない。

納品に行く為にガソリンを使用するが、効率の良い納入方法を模索してガソリン使用量を抑えていきたいと考えております

1) 中長期目標

環 境 目 標 対象とする製品 部品の範囲		2020年 (基準年)	2022年 基準年 (2020) △3%	2023年 基準年 (2020) △3%	2024年 基準年 (2020) △3%	2025年 基準年 (2020) △3%
消費電力の削減 (kWh)	本社工場	48,212	46,765	46,765	46,765	46,765
	第二工場	——	——	——	——	——
水の使用量の削減 (m³)	本社工場	152	147	147	147	147
	第二工場	——	——	——	——	——
産業廃棄物排出量 (kg)	本社工場	2,690	2,609	2,609	2,609	2,609
	第二工場	——	——	——	——	——
コピー用紙の削減 (kg)	本社工場	170.7	165	165	165	165
	第二工場	——	——	——	——	——
ガソリン消費量 (Kg-CO2)	本社工場	3,190	3,094	3,094	3,094	3,094
	第二工場	——	——	——	——	——
ガス消費量 (Kg-CO2)	本社工場	140	136	136	136	136
	第二工場	——	——	——	——	——
内作率向上による生産性をアップする	年々、内作率はUPしており今後も設備投資を行い更なる内作率向上へ向けて進めていきます					

環 境 目 標 対象とする製品 部品の範囲			2020年度 (基準年度)	2023年度		
				目標 基準年度 △3%	実績	目標達成率
当社が製造する全ての部品及び設備等について環境基準に適合した物を使用しています。 その中から下記6項目を数値目標として選定しました			2019/10～ 2020/9 売上高 232,954千円	目標値 基準年比 2022/10～ 2023/9	実績 2022/10～ 2023/9 売上高 246,222千円 (5.7%UP)	対目標 削減率
①消費電力の 削減	本社工場	(kWh)	48,212	46,765	47,710	2.02%
		(Kg-CO2)	——	——	18,988.00	
	第二工場	(kWh)	——	——	23,020	——
		(Kg-CO2)	——	——	9,161.96	
②水の使用量の削減	本社工場	(m³)	152	147	142	△3.4%
	第二工場	(m³)	把握不可の為、定性的削減活動の実施		——	——
③産業廃棄物排出量 削減	本社工場	(kg)	2,690	2,609	2,400	△8.01%
	第二工場	(kg)	本社・工場にて一括処理の為、 本社・工場に含む		——	——
④コピー用紙の削減	本社工場	(kg)	170.7	166	176.3	6.2%
	第二工場	(kg)	本社・工場にて一括処理の為、 本社・工場に含む		——	——
⑤ガソリン消費量	本社工場	(Kg-CO2)	3,190	3,094	3,895	25.9%
		(L)	1,375	1,333	1,679	
	第二工場	(Kg-CO2)	該当車両なし		——	
		(L)			——	
⑥ガス消費量	本社工場	(Kg-CO2)	140	135	110.2	△18.37%
		(Nm³)	64.8	63	51	
	第二工場	(Kg-CO2)	使用なし		——	——
		(Nm³)			——	
⑦内作率向上による生産性をアップする			年々、内作率はUPしており今後も設備投資を行い更なる内作率向上へ向けて進めていきます			
※1 2023年度当社の二酸化炭素排出総量は「32,155.38Kg-CO2」です。						
※2 電力の排出係数は東京電力「0.398kgCO2/ kWh」を使用						

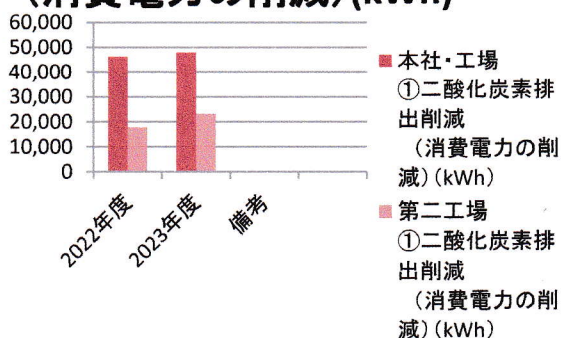
主要な環境経営活動の内容及び取組結果の評価と次年度の活動計画

環境活動計画の内容	活動達成状況	取組結果の評価と次年度の活動計画
消費電力の削減 ①不必要な電灯はこまめに消す (目安 3～5 分) ②エアコンの設定 冬 18℃～20℃ 目標 夏 26℃～28℃ 目標	実施 47,710 kwh 目標△3% 基準年度比 (2020 年) 売上スライド制 以下各項目共	目標未達成 ☆特に夏場の冷房や残業での電気使用が増えてしまった と思います。 効率の良い作業工程を組むなどして残業を抑えて不要な 電気使用を控えるよう進めていきます 達成率+2.02% 次年度目標△3%
水の使用量の削減 ①無駄な水は使用しない ②常に節水に心がける(蛇口に表示) ・蛇口の点検・水道管の漏れ点検 定期的に記録(1 週間毎)	実施 142 m ³ 目標△3%	目標達成 ☆作業工程で使用する事は少なく、生活用として使用して いるので、そろそろ限界の数値になってきています 達成率△3.4% 次年度目標△3%
産業廃棄物排出量の削減 ①コピー用紙の裏面再利用 ②廃材のリサイクルに努める ③廃プラの削減に努める	実施 2,400 kg 目標△3%	目標達成 ☆材料の端材管理を行っているので、以前よりも無駄に材料を 捨てる事が減ってきており良い傾向です 達成率△8.01% 次年度目標△3%
コピー用紙の削減 (コピー用紙の裏面使用)	実施 176.3 kg 目標△3%	目標未達成 ☆今後も紙での出力不要なものについては中止 図面等で必要な際にだけプリントするよう注意喚起を 行っていく 達成率+6.2% 次年度目標△3%
ガソリンの消費量削減	実施 1,679 L 目標△3%	目標未達成 ☆遠方への納品が増加してきているので、効率の良い納品 方法を模索して実施していきたい 達成率+25.9% 次年度目標△3%
ガスの消費量削減	実施 110.2 N m ³ 目標△3%	目標達成 ☆ガスの使用は業務上の使用は時々ありますが、生活上 使用する量と合わせても少量ですので従来の量から増えるよう でしたら又、改めて対応します。 達成率△18.37% 次年度目標△3%

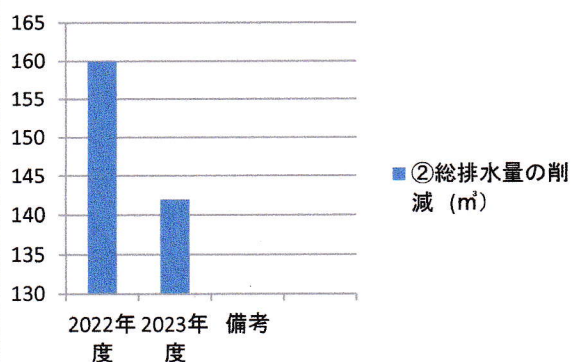
2023年度実績

環境目標	2022年度	2023年度	備考
本社・工場 ①二酸化炭素排出削減 (消費電力の削減)(kWh)	46,032	47,710	
第二工場 ①二酸化炭素排出削減 (消費電力の削減)(kWh)	17,706	23,020	
②総排水量の削減 (m ³)	160	142	
③産業廃棄物排出量(kg)	2,885	2,400	
④コピー用紙の削減 (kg)	213.7	176.3	
⑤ガソリン消費量 (L)	2,245.8	1,679.0	
⑥ガス消費量 (Nm ³)	60	51	

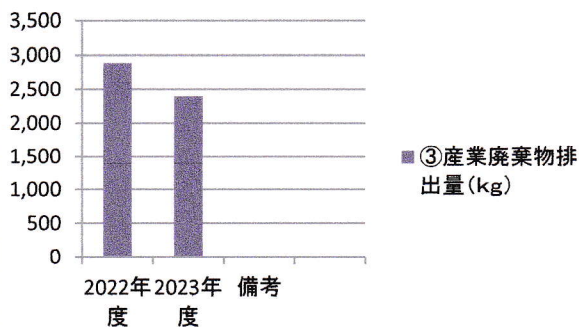
①二酸化炭素排出削減
(消費電力の削減)(kWh)



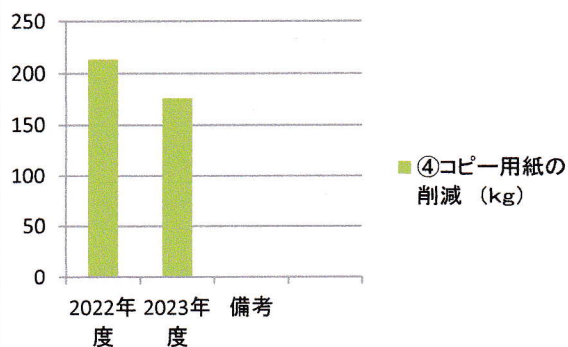
②総排水量の削減 (m³)



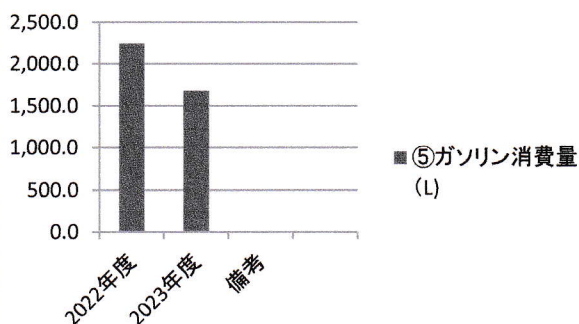
③産業廃棄物排出(kg)



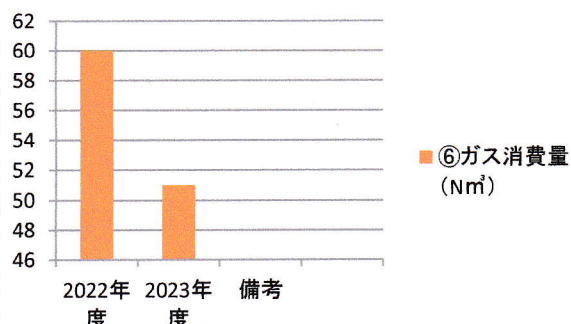
④コピー用紙の削減(kg)



⑤ガソリン消費量 (L)



⑥ガス消費量 (Nm³)



環境関連法規への違反・訴訟

当社に適用される環境関連法規への違反はありませんでした。
又関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

主な法律・条例

- ①廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ②特定科学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律
- ③フロン排出抑制法

代表者による全体評価と見直しの結果について

2023年度は基準年度(2020年度)に比べ売り上げが約5.7%増加いたしました。

アクリル等の端材は以前ですとリサイクルへ回す事も可能でしたが需要が減少した今日では
廃プラとして廃棄するしかない状況です。

産業廃棄物の処理コストも年々増加してきている中で、廃棄しなくても他製品に使用できる材料を
パソコン上で管理する事で少しでも「ゴミ」として出すのではなく資産として残していく事を
進めていきたいと考えています。

ガソリン消費量については、燃料も高騰している所ですので、会社全体として効率の良い
納入方法を選択して、少しでも不要な燃料使用を控えていくことを今後の課題といたします